

滋賀県

誰もが状態に応じて適切な場所で必要なサービスを受けられる
「滋賀の医療福祉」 の実現に向けて

滋賀県では、地域医療構想を「病床機能の分化連携の推進」と「地域包括ケアシステムの充実」の両輪で推進していきます。

1 都道府県及び構想区域の基礎情報

滋賀県

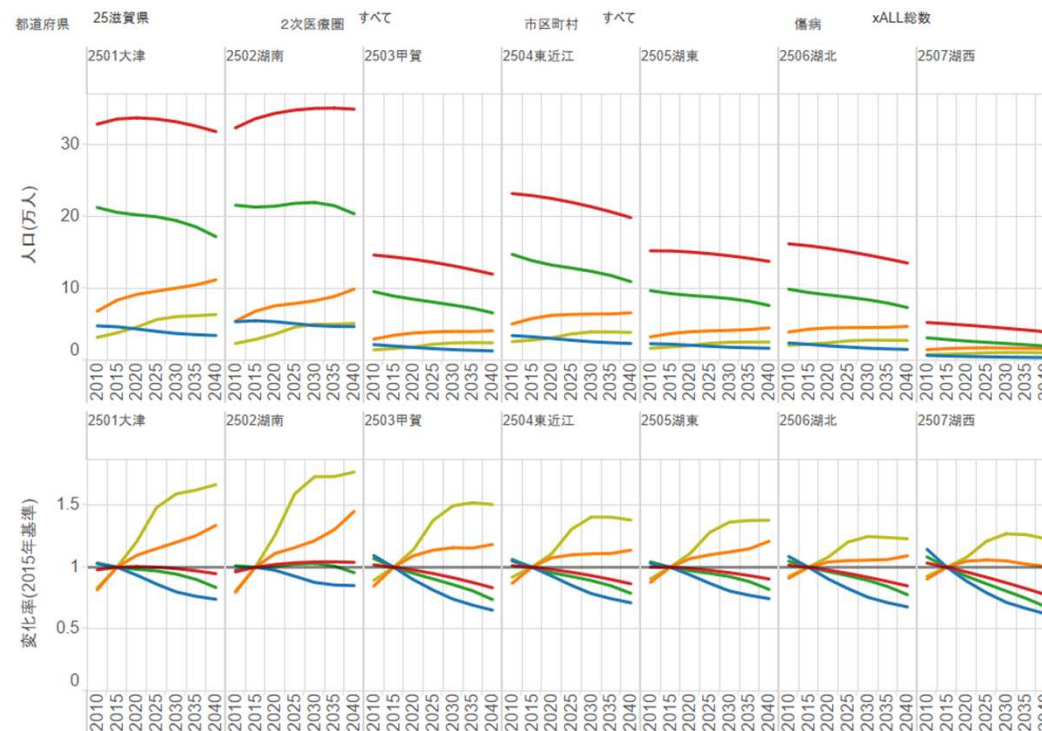
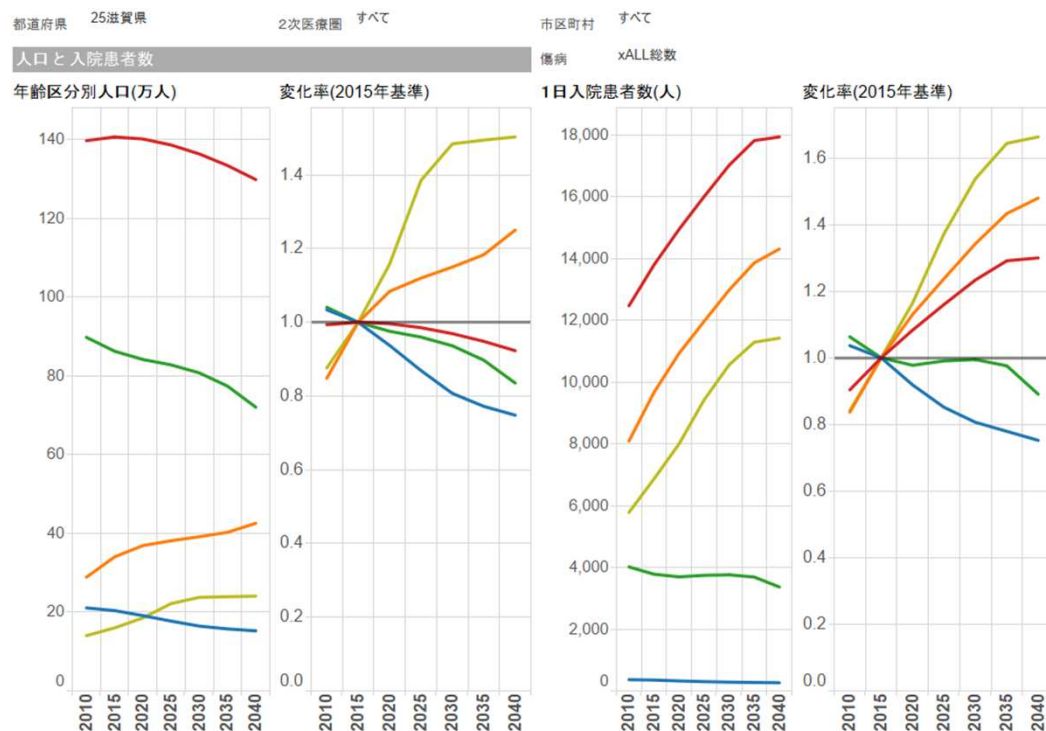


構想区域	人口 ※H27 国勢調査	市町村 数	報告対象 病院数 ※H29.12	公立 病院	公的医 療機関 等	その他	報告対 象有床 診療所	医師数 ※H28 三師調査	人口10 万対
大津圏域	340,973	1	13	1	4	8	10	1,288	377.7
湖南圏域	333,744	4	11	3	2	6	11	733	217.5
甲賀圏域	145,190	2	6	2	1	3	3	207	142.8
東近江圏域	229,799	4	10	2	1	7	7	431	188.2
湖東圏域	156,273	5	4	1	0	3	2	245	157.1
湖北圏域	156,912	2	3	2	1	0	2	292	187.2
湖西圏域	50,025	1	3	1	0	2	0	74	151.0

構想区域	平成28年度病床機能報告における病床数								2025年病床数の必要量				
	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	非稼働 病棟	未報告	合計	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
大津圏域	1,266	866	333	727	21	21	0	3,213	470	1,161	961	645	3,237
湖南圏域	482	1,455	307	650	22	22	0	2,916	294	999	892	521	2,706
甲賀圏域	8	541	238	391	0	0	0	1,178	78	311	448	341	1,178
東近江圏域	144	1,085	185	880	0	0	0	2,294	174	485	551	622	1,832
湖東圏域	8	619	161	351	54	54	0	1,193	82	355	293	284	1,014
湖北圏域	324	617	146	109	41	41	0	1,237	161	446	288	67	962
湖西圏域	0	228	82	100	0	0	0	410	18	114	146	112	390

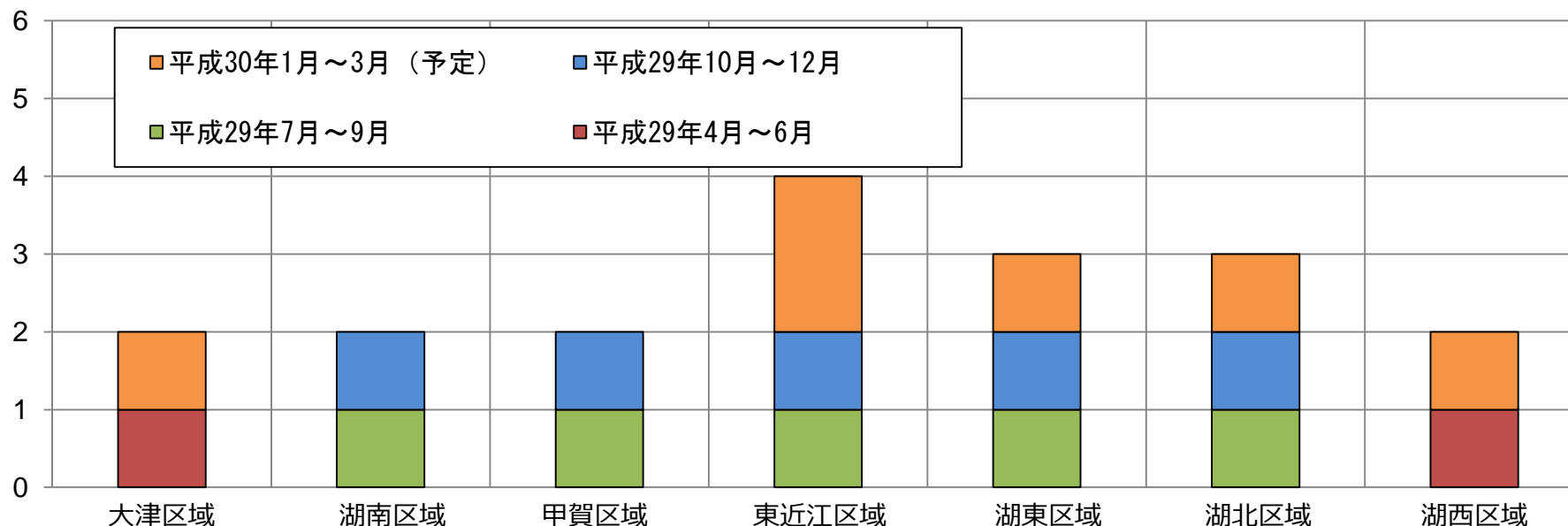
2 滋賀県の特徴

- 「医療福祉」・・・滋賀県独自の概念
保健、医療、福祉といった縦割りの各分野のサービスが単に連携するという事にとどまらず、地域における生活を支えるという統一的な理念の下で、各分野が一体的かつ有機的にネットワークを形成していくことが重要であり、この考えを表す言葉。
- 人口10万人あたり病床数（病院）は全国で6番目に、病院数は全国で2番目に少ない。（H28）
- 平均寿命 男性81.78 歳（全国1位） 女性87.57（全国4位）（H27）
- 平成27年をピークに人口が減少局面に。
- 7つの圏域で高齢化の山が来るタイミングはまちまち。



3 地域医療構想調整会議における議論の進捗状況

■ 構想区域ごとの調整会議の開催状況（開催延べ回数）（平成29年12月末時点）

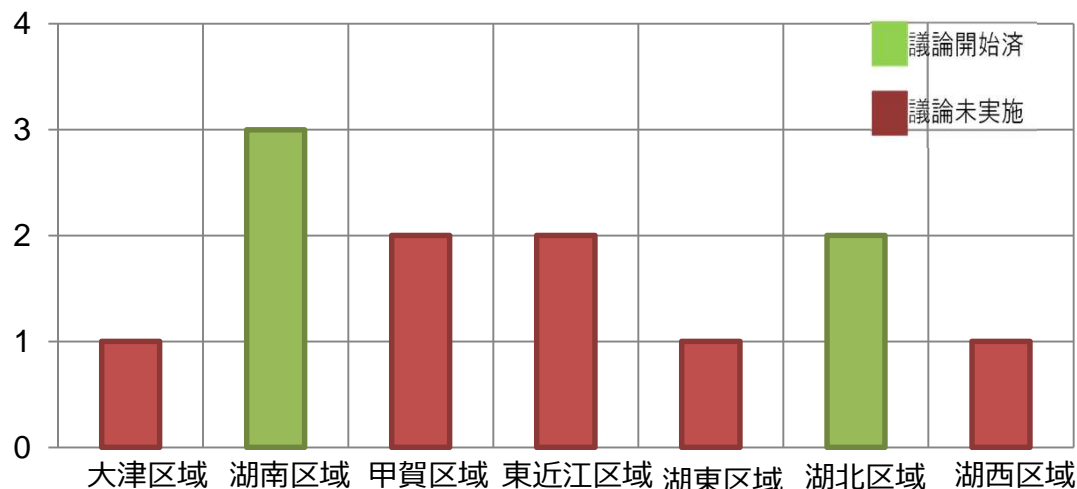


■ 意見交換会等の取組例

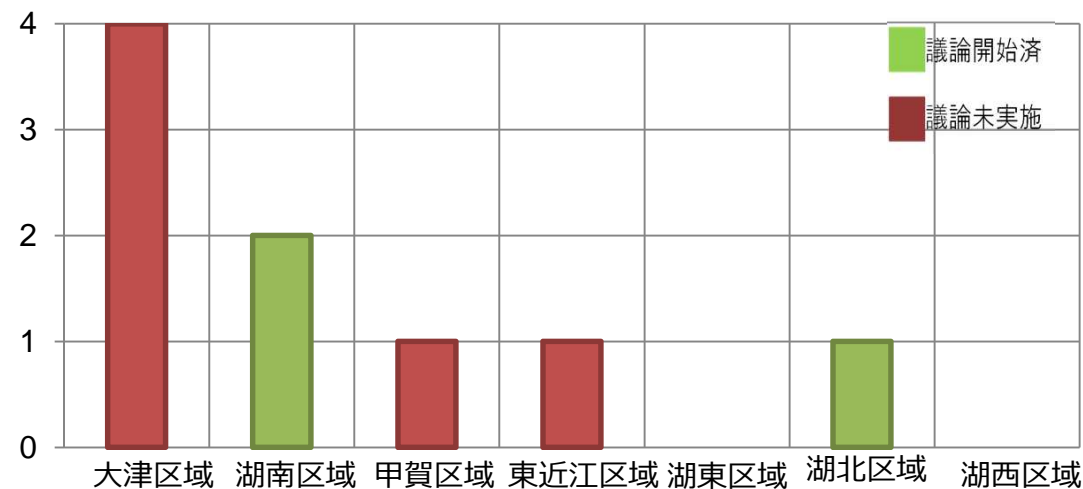
- 公的医療機関等2025プランを活用し、医療機能別の病院長の意見交換会を開催
- 事務長、看護部長の意見交換会を開催
- 調整会議開催前に、市町と意見交換を実施
- 各病院を回り、ヒアリングを実施
- その他テーマに応じたメンバーで柔軟に意見交換の場を設定

4 新公立病院改革プラン及び公的医療機関等2025プランの進捗状況

■ 構想区域ごとの新公立病院改革プランについて、調整会議での議論を開始した病院数／策定対象病院数



■ 構想区域ごとの公的医療機関等2025プランについて、調整会議での議論を開始した病院数／策定対象病院数



※ H29.12時点。年明け以降、順次調整会議や意見交換会で議論開始。

■ プランの活用について
活用方法

- 公立病院においても2025プランのフォーマットでプランを作成
- 公立・公的病院以外の病院においても2025プランを作成（一部圏域）
- 各病院の得意分野や今後の見通し、問題意識を共有

スケジュール

- 今年度内には意見交換会や地域医療構想調整会議で、順次各病院から説明。議論を開始する。

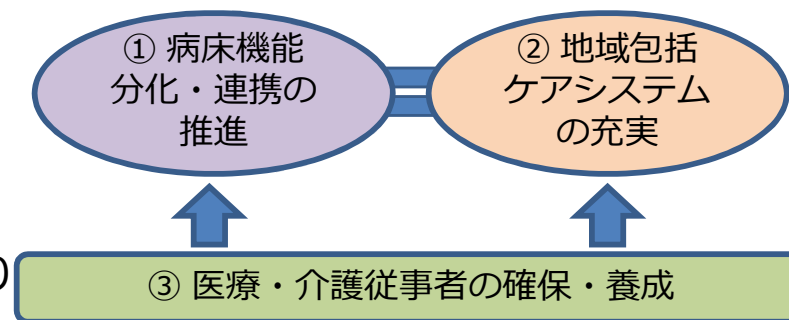
5 地域医療構想の達成に向けた独自の工夫

【滋賀県地域医療構想のポイント】

《基本的な施策の方向》

- (1) 効率的かつ質の高い医療提供体制の構築
 - ・ 医療機能に応じた提供体制の確立
 - ・ 高齢者の増加に伴う疾病構造の変化への対応
 - ・ 切れ目のない連携システムの構築
- (2) 地域の特性に応じた地域包括ケアシステムの構築
 - ・ 医療と介護が一体となって生活を支える地域づくり
 - ・ 安心して最期を迎えられるしくみづくり
 - ・ すべての年代が健康的な生活を送れる地域づくり

《取組の重点事項》



- 地域医療構想調整会議
 - ・ 全ての病院が参画
 - ・ 地域包括ケアシステム構築を担う市町と共同で運営（一部圏域）
 - ・ 病院の病床機能分化連携だけでなく、在宅医療までを見据えた議論
- 在宅医療の推進に向けて、医療介護関係者・住民代表、行政等から構成される「滋賀県在宅医療等推進協議会」を設置。
- 医療介護を提供する団体・患者団体・行政等の行動計画として、滋賀県保健医療計画中の「在宅医療」分野をより詳細に記載した「滋賀県における在宅医療推進のための基本方針」を策定。

6 医療機関の再編・統合の参考事例

□ 守山市民病院：市から済生会に15年間の指定管理の後に譲渡予定

- 新病院の病床は、一般111床、療養88床を活用し、地域医療構想に沿った形で地域包括ケア病床の拡大を図り、地域の回復期を支えるとともに、開放型病床および在宅支援病床を確保する中で、地元医師会と連携して地域の在宅医療を支える。
（「守山市民病院の滋賀県済生会への移行の方針」平成29年10月 より抜粋）
- 守山市民病院から約4キロの距離に、高度急性期、急性期医療を担う済生会滋賀県病院が立地。

※当該案件は、当事者主導で進められている。

7 都道府県としての来年度への抱負

地域医療構想調整会議の運営について

- 地域医療構想調整会議と併せて、意見交換会等、テーマに合った議論の場を柔軟に設定し、議論を促していきます。
- 圏域の関係者に気づきを得てもらえるようなデータを示せるよう、知恵を絞ります。

医療機関の機能分化・連携の支援について

- 地域医療介護総合確保基金を活用した事業については、調整会議や関係団体等との意見交換を通して事業提案を募集し、事業の趣旨・目的を明らかにして実施します。
- 病床転換等のハード事業と、在宅医療の体制整備や医療従事者の確保・養成等のソフト事業の両輪で取り組みます。

介護施設・在宅医療等の整備について

- 増大かつ多様化する在宅医療や介護サービス需要に対応しながら、必要な人に必要な医療・介護サービスを適切に、かつ一体的に提供できる体制整備を図ります。
- 本人の暮らしを中心に据えた医療福祉サービスが多職種・多機関連携によって提供されるよう、人材の確保・育成とスキルアップ、ネットワーク活動のさらなる促進を図ります。